【議事２】

医療依存度の高い
在宅重症難病患者の災害時対策

【大目標５】
災害時に身の安全が確保される

目標

（１）関係機関が災害時対策に関する地域の状況や資源を把握し、
　　支援に繋げることができる

（２）家族が災害時の対応を知っている

難病患者のうち、災害時に優先的に支援が必要となる対象者

大目標5　災害時に身の安全が確保される

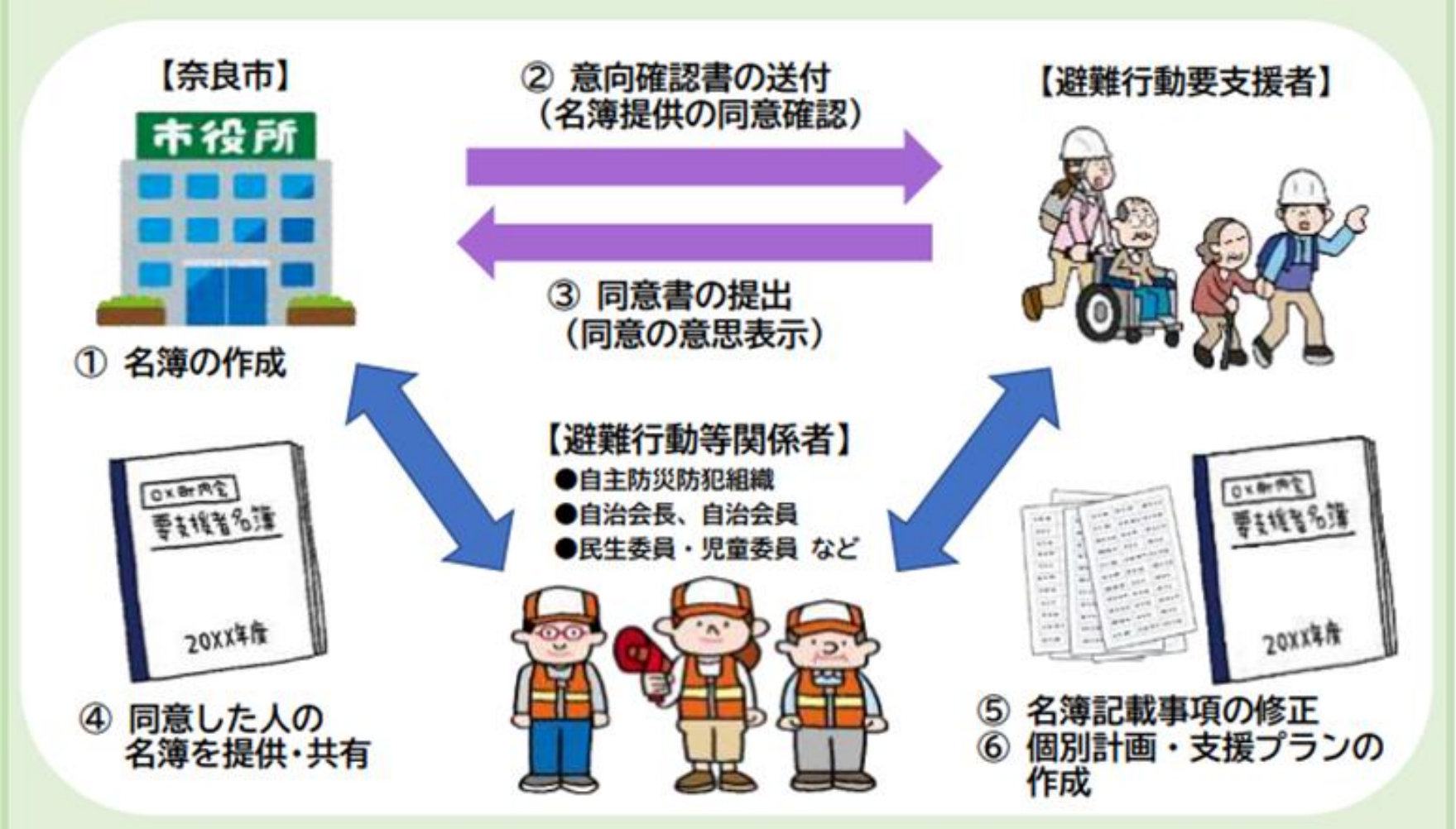
人工呼吸器装着患者

頻回な吸引が必要な患者

●個別ケースの災害対応マニュアルと緊急時連絡票の作成・見直し

- 家庭訪問による状況確認
- ケアマネや訪問看護師に医療機器やサービスの利用状況の確認
- マニュアルと連絡票を複数の関係機関で保管
- 対象者の一覧を作成し管理

●対象難病患者３８名を「奈良市避難行動要支援者名簿」へ位置づけ
　対象者：災害時に優先的に支援が必要と予想される寝たきりや呼吸器装着患者



令和5年6月
奈良市福祉政策課
避難行動要支援者
名簿の手引きより
抜粋

●ワーキング会議の実施

（災害時における療養介護事業所のある医療機関への入院に関する協定書（平成２６年～締結））

内　　容

大規模な地震等の災害発生時に、難病患者・医療的ケア児等で、人工呼吸器・吸引器等の電源が必要な医療機器を必要とし、災害による停電等によってこれらの機器の使用や処置がないと生命にかかわる等の特別な配慮が必要な患者が、一時的に避難するため、療養介護事業所のある医療機関に緊急入院を行う。

指定医療機関

奈良医療センター・東大寺福祉療育病院・バルツァ・ゴーデル

会議の実施

Ｒ４年度　２回開催

Ｒ５年度　２回開催（令和６年１月３１日現在）

課題【大目標５】

●災害時の避難所への移動手段や人材の確保等、さらなる具体性を盛り込んだ内容の災害対応マニュアルにしていく必要がある

●庁内各課で災害時対策に取り組んでいるが、関係各課との連携強化が必要である

●台風や地震等の大規模災害に備え、協定を締結している病院とスムーズに調整できるよう連携体制を整えていく必要がある